

荷台からの墜落・転落災害を防止しよう！

「墜落・転落」及び「動作の反動・無理な動作」による災害が全体の5割以上を占めています

宇部労働基準監督署

当署管内における道路貨物運送業の労働災害(休業4日以上)は、令和元年から令和3年までの3年間は横ばいで推移していました。令和4年に増加したものの、令和5年には過去最少件数に減少しています。しかし、負傷の程度でみると**休業1か月以上の災害が多く発生**している状況です。

令和元年以降は、令和3年及び令和4年に1件ずつ死亡災害が発生しています。

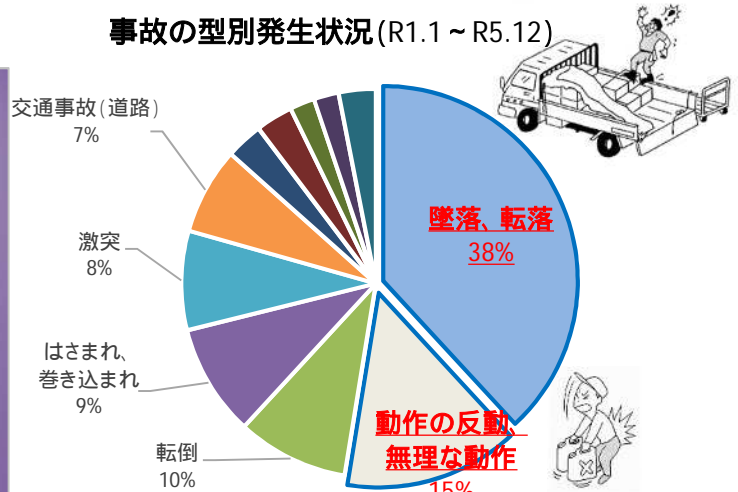
死傷災害を事故の型別にみると、**荷役作業中の荷台等からの「墜落・転落」災害が最も多く、全体の38%**を占め、次いで**積込作業中の腰痛等を含めた「動作の反動・無理な動作」による災害が15%**を占めています。

道路貨物運送業の災害統計と災害事例 (新型コロナウイルス感染症による労働災害を除く)

災害発生件数の推移



事故の型別発生状況(R1.1～R5.12)



災害事例(令和4、5年に当署管内で発生した災害)

事故の型	休業期間	災害の概要
墜落、転落	3ヶ月	トラックのパワーゲートに乗って荷下ろし中、パワーゲートを下げた時に荷物を載せたロールボックスパレットが動き出し、押し出された形で地面に転落した。
	3ヶ月	トラックの荷台に積んだ毛布入れを踏み台にしてシートデッキにシートを片付けていた時、毛布入れが凹んだ拍子にバランスを崩して地面に転落した。
	1ヶ月	帰りの積み荷を積込み後、荷台でシートカバーを掛けているときに紐を張った際に勢い余って荷台から転落した。
	6週間	トラックに乗り込む際、車両のステップが雨で濡れていたため足を滑らせ、フェンダー部に胸を打ちながら落下した。
	1ヶ月	荷台に積み荷が残っていないか運転席横の梯子に上り確認しようとして足を滑らし、手すりから手が離れて落下した。
動作の反動、無理な動作	1ヶ月	トラック荷台上で緩衝材5枚を持ち上げようとしたところ、中腰の状態では動けなくなった。
	3週間	作業場で洗浄後の箱の蓋を台車を使って運搬中に荷崩れを起こし、地面に落とした。その蓋を拾い上げる際に腰に痛みがでた。

荷役作業の労働災害防止のポイント！

墜落・転落災害防止対策



1 安全な作業床を設置しよう！

- ☞ あおりや荷の上での作業は特に危険であり、十分な幅のある場所を確保することが安全上効果的です。安全な作業床の設置が困難な場合は、安全ネットや要求性能墜落制止用器具を使用しましょう。
- ☞ 荷台の上での作業や荷の上の移動はできるだけ避け、地上での作業や移動としてください。また、荷台上での作業では背を荷台外側に向けないことを心掛けましょう。

2 保護帽を着用しよう！

- ☞ 貨物自動車(最大積載量が2t以上)の荷の積み卸す作業を行う際は、保護帽を着用しましょう(パントリーでテールゲートリフターが設置されていないものは除く)。



適用されないもの
(テールゲートリフターが設置されていないもの)
※墜落・転落の危険のある作業において保護帽を着用することが望ましい。



必ず保護帽を着用しよう
荷台へのステップなど昇降設備を設けましょう

3 荷台への昇降には安全に昇降できる設備を設置しよう！

- ☞ 高さにかかわらず、安全に昇降するために、荷台や荷の上との昇降には**安全な昇降設備**を設けるようにしましょう。また、運転席から**地上に降りるときは、手すりを持ち、三点支持**を徹底してください。

～ 職場で行われている好事例を紹介 ～

昇降台の導入



三点支持の徹底



貨物自動車に設置されている昇降用のステップについては、可能な限り乗降グリップがあり、三点支持等により安全に昇降できる形式のものとしてください。

準備体操の実施



ロールボックスパレットによる下敷きや手足の負傷などの事故も発生しています！

ロールボックスパレットは、荷崩れや商品の損傷を防いで移動でき、利便性に優れていますが、下敷きや手足の負傷等の事故が発生しています。

当署管内でも、ロールボックスパレットによる労働災害が発生していますので、以下の対策をお願いします。

1 段差、傾斜のある場所では事故が起きやすいので注意しよう！

- ☞ 段差、傾斜のある場所での作業は、特に慎重に行いましょう。
ロールボックスパレットが倒れそうになったら、倒れる方向には絶対に入らないようにしましょう。

2 停止時は必ずキャストーストッパーを使おう！

- ☞ わずかな傾き、風でもパレットが勝手に動き出すことがあります。

3 折りたたむと不安定になるので注意しよう！

- ☞ 折りたたんだ状態で重ねて保管する場合は、路面の傾斜や風によって転倒するおそれがあるので、平らな場所で、ロープ等で固定して動かないようにしましょう。

